

会 告 (II)

第 1 回材料試験連合講演会講演募集要項

工学関係で使う材料の種類はきわめて多く、その用途も多方向にわたっている。これらの材料はそれぞれ適正な試験をもつて適否の判断をされねばならない。古くから使われている材料は同じ用途に対しても種々の試験方法が提案されていて、どの方法によるのがよいか、迷うこともあるし、新しい材料については定まった試験方法が未だなくてどんな方法によるのがよいか困ることも多い。このような事情は国際的にもみられるし、国内においてもそうである。日本学術会議では昨年材料試験研究連絡委員会を設けて、主に工学関係の材料に関係ある学協会に呼びかけ、広く研究の連絡を行って、この方面の進歩に役立たせることとなつた。

そこで今年には国内の関係学協会の参加を要請して今秋第 1 回材料試験連合講演会を開くこととなつた。材料に関する研究者が広く一堂に会して研究を発表し、必要な討議を行えば、その進歩に必ずや多大の寄与をするものと期待する。願くばこの趣旨に御賛同たまわり、数多くの論文がこの連合講演会に提出されて、所期の目的を達成するようにしたい。については別記の講演募集要項を御覧の上、奮つて御申込あらんことを希望する。

昭和 32 年 4 月 材料試験連合講演会運営委員会

主 催：日本学術会議材料試験研究連絡委員会

参加学会：造船協会、土木学会、日本鑄物協会、日本化学会、日本機械学会、日本金属学会、日本建築学会
日本航空学会、日本材料試験協会、日本鉄鋼協会、日本非破壊検査協会、溶接学会、窯業協会(予定)

第 1 回講演会幹事学会：土木学会（東京都新宿区四谷 1 丁目 電 (35) 5138, 5139)

日本材料試験協会（京都市左京区吉田本町京都大学工学研究所内）

（関東支部：新宿区戸塚町早稲田大学工学研究科機械工学材力研究室 電 (34) 2141）

日本鉄鋼協会（東京都千代田区丸の内 2 の 10 仲 14 号館 1 号 電 (28) 3662）

日 時：昭和 32 年 10 月 28 日（月）29 日（火）

会 場：日本学術会議講堂および科学博物館講堂（台東区上野公園）

講演申込：a) 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み、参加学会々員以外の方は直接幹事学会に申込みと。

b) 講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが最近の研究に属するものが望ましい。

c) 講演時間は約 20 分（討論を含む）の予定。

d) 講演の採択は幹事学会に一任せられたい。

e) 由込用紙は随意であるがつぎの事項を必ず記載すること。

(イ)講演題目 (ロ)梗概約 200 字 (ハ)講演部門名 (ニ)講演ならびに連名者各々の氏名、勤務先、通信先、学会員資格、
年令（連名の場合は登壇者に○印をつけること）(ホ)講演題目、氏名、勤務先には英文を付記すること、(ヘ)映画および
スライド使用の有無と大きさ

注：第 1 部 金属材料、第 2 部 非金属材料、第 3 部 一般（材料試験器その他）

講演申込期日：7 月 20 日 所属学会必着

講演前刷：聴講者のテキストとし、あわせて講演時間の短縮、掛図等の節約を図るため講演者全部の講演前刷を作ります。講演者は前刷原稿を必ず期日までに各所属学会へ（参加学会々員以外の方は申込んだ幹事学会へ）提出されたい。（a）講演前刷原稿提出期日 8 月 31 日（b）前刷原稿は規定の原稿用紙 2 枚以内（図表、写真を含めて邦文にて約 2600 字）に明瞭に墨書して下さい。なるべく余白をさけるよう留意して下さい。（c）前刷原稿の書き方の詳細は所属学会から講演申込者に送付いたします。（d）講演前刷はオフセット印刷になりますから写真も入れられます。原稿用紙は講演申込者に所属学会から送ります。所定用紙以外の用紙に書いた原稿は受付けません。